

# いちほまれを核とした福井県産米の産地強化戦略 (兼第4次いちほまれブランド戦略)の骨子案について

## 【目指すべき姿】

いちほまれを核として福井県産米全体の評価を高めるとともに、気象変動や実需者のニーズに対応した良食味米産地づくりをすすめ、生産者の所得向上、再生産可能な経営を目指す

## これまでの取組みと成果

### ○高価格帯を維持しながら生産量を拡大

#### 生産概要

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 見込み
生産量 (t)	3,000	4,000	5,000	6,000	7,000	8,000	10,000	12,000
生産面積 (ha)	600	800	1,000	1,200	1,400	1,600	1,900	2,200
生産者数 (人)	380	410	400	446	463	497	652	850

#### 販売店舗数の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
販売 店舗数	1134	1700	2243	2402	2807

### ○主要都市圏を中心としたテレビCMの放映や交通広告の展開 SNSや動画配信による積極的なプロモーション

#### 認知度の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
認知度	19%	24%	26%	30%	36%

#### 《課題》

- ・いちほまれは、県産米のトップリーダーとして主要都市量販店でブランド米として定着・定番化する必要がある
- ・需要に合わせた品種構成で実需者から選ばれる産地づくりが必要
- ・良質米の安定生産のため、高温耐性品種への転換が必要

## 次期戦略（R8～R12）の内容

### ○福井県産米のトップリーダーとしてのいちほまれの

### ブランド定着・定番化

#### 【生産戦略】

- ・主要都市圏の大規模量販店のブランド米定番商品として定着できる生産量を確保（2万トン）

#### 【販売戦略】

- ・高価格帯を維持しながら量販店での定番化と米穀店での販売量の拡大

#### 【PR戦略】

- ・ブランド米としてさらなる認知度の向上と県民の愛着心の醸成

### ○需要にあわせた品種構成で実需者から選ばれ続ける強い産地づくり

- ・良質米産地として、需要に応じた生産量を確保  
(主食用米生産量10万トン)
- ・シャインパールなど多収品種を加工用米や業務用米等での需要を開拓し、生産拡大

### ○良質米を安定して供給するため、高温に強い品種への切替えと

### 作付面積拡大

- ・より高温耐性が強く、高品質の品種に切替え（早生新品種）